

阿賀町 新潟県阿賀町

[贈呈理由] 排湯熱の利用ならびに河川水を利用したヒートポンプシステムの導入



かぜ温泉 赤崎荘



排熱回収冷暖房用ヒートポンプ



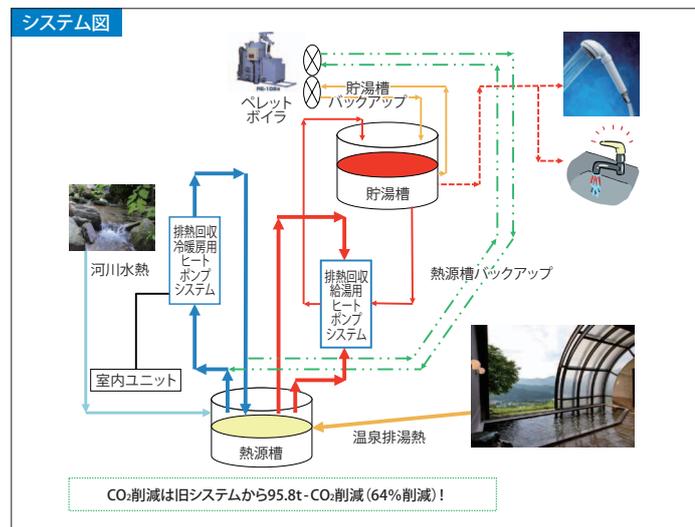
排熱回収給湯用ヒートポンプ

新潟県の東部に位置し福島県の県境と接している阿賀町は、2005年に東蒲原郡の2町2村が合併して誕生した。飯豊連峰・御神楽岳・日本平山などの山々に抱かれ、泉質が良好なきりん山温泉、三川温泉など八つの温泉地を有しており、まちの中央を大河「阿賀野川」が流れ、四季折々に美しいまちである。昔から語り継がれている狐火伝説を元に「つがわ狐の嫁入り行列」を江戸時代の嫁入り風俗そのままに再現し、幻想的な行事として毎年多くの県内外の観光客を魅了している。

まちの資源である「豊富な温泉」「木質バイオマス」「山からの沢水」などの再生可能な自然エネルギーを複合的に有効利用したシステムの導入により、省エネと環境負荷低減に向けたまちづくりを推進している。

排湯熱と河川水を利用した新たなシステムを構築

鹿瀬地区にある開閉式ドーム型展望風呂からの眺めが格別な一軒宿「かぜ温泉 赤崎荘」では、温泉排湯熱を利用したヒートポンプによる給湯と暖房を主体とし、河川水を利用したヒートポンプによる冷房などを行い、再生可能な自然エネルギーの複合的な利用を目的として、今回、新たなシステムを構築した。



かけ流しで豊富な湯量と効能が自慢の施設「新三川温泉 ホテルみかわ」では、温泉排湯熱を利用したヒートポンプによる給湯と暖房を行っている。

化石燃料に頼らない地域資源の活用を目指す

阿賀町では、これらのシステムを実証することで、地域エネルギーの循環型社会への構築につなげていきたいと考えている。また、近年高騰が続く化石燃料に頼らない施設運営が可能となることから、モデルケースとして同様な施設へ展開されることを期待している。

主な蓄熱システム導入実績

- かぜ温泉 赤崎荘
2014年 排熱回収給湯用ヒートポンプ 43.0kW×1台 [ゼネラルヒートポンプ工業] 貯湯槽:8m³×1基
排熱回収冷暖房用ヒートポンプ 50.4kW/56.5kW(冷/暖)×1台 [ゼネラルヒートポンプ工業]
- 新三川温泉 ホテルみかわ
2015年 排熱回収給湯用ヒートポンプ 91.2kW×1台 [ゼネラルヒートポンプ工業] 貯湯槽:25m³×1基
排熱回収冷暖房用ヒートポンプ 40.0kW/45.0kW(冷/暖)×1台・33.5kW/37.5kW(冷/暖)×1台・28.0kW/31.5kW(冷/暖)×1台・50.4kW/56.5kW(冷/暖)×1台 [ゼネラルヒートポンプ工業]

また、三川地区にある6種類の浴槽を備えた